



病院長 池田 正寿

謹んで 新春の御祝詞を 申し上げます

■昨年に続き（残念ながら）今年も新型コロナウイルス感染症の話題から始めます。この原稿をしたためているのは新たな変異株である“オミクロン株”が話題になっている時期です。ウイルスに意思があるとは思っていませんが、宿主である人類との共存を選ぶ方向に変異が起きていることを祈るのみです。



■昨今、新規新型コロナウイルス感染症患者数が報道される頻度よりは少ないかもしれませんが、コロナ禍で困窮を余儀なくされている方々の報道が増えています。2020年の新語流行語大賞にもノミネートされた“エッセンシャルワーカー”（大賞は三密）ですが、医療・介護の分野を含め、私たちが尊厳をもって日々を暮らしていくために不可欠とされる職業に就いている方々が安心できる生活を送れていないのは問題だと考えます。



■私たちが日々得ている収入は、他者に与えるサービスの対価として支払われるものです。一つのサービスあたりの単価が少なくてもグローバルに通用するものであれば結果として莫大な対価が支払われると思いますが、例えば介護事業などは必要不可欠な仕事なのに労働生産性は高いとは言えず十分な対価を得ることができません。これを補填するためには公的な介護報酬の増額が望まれますが、その原資をどこに求めるかが問題です。



■第二次世界大戦で灰塵に帰した我が国の経済は経済成長の波にのることができ一時は世界第二位の地位まで成長することができました。しかしその間に新興・途上国も経済発展を続けているので日本だけがいつまでも高い経済成長を続けることはできません。国もデジタルトランスフォーメーションやグリーン分野への投資、地方創生などの成長戦略を推し進めていますが、所得格差は縮まっていないようです。所得の不平等さを表すのに良く引き合いに出されるのがOECDジニ係数です。厚労省が発表している再分布所得ジニ係数は0.33程度で比較

的安定していますが、当初所得ジニ係数は1980年代（0.35）以降右肩上がりです。最近では0.55を超えています（0に近いほど不平等さが低い）。私は経済学には疎いので、我が国は再分配機能が働いて他国より優れているといえるのかどうか分かりませんが、所得税は課税所得が330万円を超えると20%以上になる（住民税は別）のに利子や配当などの税率は一律約20%なので懐に余裕のある富裕層が有利なのは否定できないと感じます。拾い読みですが、「21世紀の資本論」著者のトマ・ピケティ氏も“資本から得られる収益率が経済成長率を上回れば上回るほど、それだけ富は富裕層に集まる”と述べておられます。



■昨年くらいから私も“持続可能な成長戦略（SDGs）17目標”をよく耳にするようになりました。これも他者からの耳学問です。すぐに底が割れる話ですが、世界では国内総生産（GDP）に基づく成長至上主義に疑問を呈する潮流があるようです。…世界のGDP（84兆ドル）の半分以上が自然資本に依存（44兆ドル）しているのに自然資本を無視している…人間の需要は自然の供給能力を超えてはならない…とする説を英ケンブリッジ大学名誉教授パーサ・ダスグプタ氏は「生物多様性の経済学」で唱えておられます。この説は昨年6月のG7サミットでも議題に取り上げられた…とのこと。氏は人工資本（インフラや建物など）と人的資本（教育や医療など）に加えて自然資本（森林・農地・漁業資源など）を加えた“包括的な富”を

経済発展の尺度とすること…このために自然を利用している企業や人に課金することを主張しておられるようです。



■確かに私たちの食事のほとんどは自然に由来しており環境破壊が進めば食糧難が訪れることは想像できます。一方、私も経済成長の限界はイノベーションで超越できる…との考え方を何となく受け入れていたので具体的にどのようなシステムを作り上げれば“包括的な富”が経済発展の尺度となるのか想像が付きません。自然の供給能力を超える企業活動を続けると（例えば）金融市場から締め出されるような世界基準が生まれれば、世界で100万ドル以上の富を持つ5610万人（2020年クレディ・スイスレポート）がその資産を維持するため新たに自然資本の維持を尊重する企業に投資先を変更するパラダイムシフトが生まれるのかもしれませんが。この結果、生物多様性が守られ自然環境も守られて将来的に安定して私たちの生存が保証されることは喜ばしいことですが、国内での経済格差の是正にすぐには結び付かないのでは…との不安感も覚えます。今年も去年に続いて「皆さま明けましておめでとうございます」とのご挨拶でこの文章を始めることができませんでした。今年こそ新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、経済的に苦しんでおられる方々が希望を持てるような年になって欲しいと願い、新年のご挨拶と致します。

舩倉島総合診療に対する感謝状をいただきました

■堀田副院長が令和3年12月8日、梶輪島市長と木村舩倉島区長との連名で、離島での医療活動に対して感謝状をいただきました。

■平成21年度（2009年度）から毎年8月の第一土曜日・日曜日の2日間、舩倉島での夏期総合診療を行ってきました。昨年はコロナ感染症のため中止となりましたが、これまでの13年間無事に島民の健康維持活動ができました。一緒に離島に渡っていただきご協力いただいた当院の看護師さんおよびスタッフの皆様方に心から感謝申し上げます。

■また、今後もしばしばよろしくお願い致します。

副院長・循環器内科 堀田 祐紀



当院の昨年度トピック

当院は昨年 5 月に開設 30 周年を迎えました

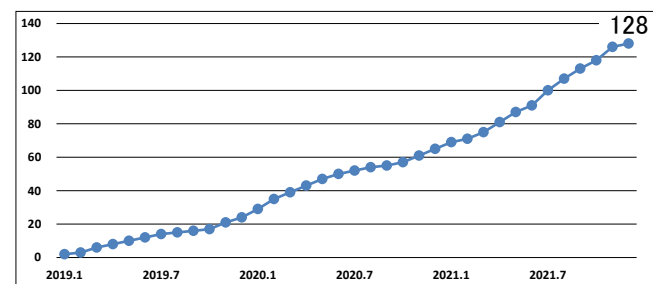
当院は、昨年 5 月 15 日に開設 30 周年を迎えました。これもひとえに地域の皆様方のお力添えの賜物だと考えております。「高度な循環器専門医療から高齢者慢性期医療にいたるまで『患者さま』に寄り添った医療を提供します」との病院理念のもと、これからも当院は地域の皆さまとともに着実に歩んで参りたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

TAVI が 100 例を超えました

当院では、弁膜症（大動脈弁狭窄）に対するカテーテル治療である TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）を 2019 年より開始しております。昨年、北陸ではもっと多くの患者さんを治療し、累積件数も既に 100 例を超えております。TAVI は AVR（外科的大動脈弁置換術）に比べ、患者さまの身体的負担の小さい低侵襲治療です。

お問い合わせ 当院循環器内科 ☎076-253-8013(TAVI 外来専用)

■当院における TAVI 累積件数■



MICS を始めました

当院では、この程、MICS（低侵襲心臓手術）をスタートしました。主に弁膜症の手術が必要な患者さまに行います。骨を切らず肋骨の間から手術を行うので、身体の負担が小さく、回復も早いのが特徴で、ご高齢の患者さまのほか、早期の仕事復帰を希望される患者さまにも有益な術式です。

お問い合わせ 当院心臓血管外科医（直通） ☎090-1097-0810

MICS

小さな傷

心臓血管外科医 直通

090-1097-0810

・医師に直接つながります。面倒な取次はありません。

・MICSに限らずどんなご相談でも結構です。お気軽にご利用ください。

従来の心臓手術

飯倉 雅哉（さかぐら れお） 倉 一重（いたに かずひろ）

注）緊急対応中の際は、循環器内科医が電話応対させていただきます。

救急は 24 時間
365 日対応
☎076-253-8000

外来担当医一覧表

		月		火		水		木		金		土
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
循環器内科	名 村	①							②	①		④
	池 田							①				④
	堀 田			①								④
	寺 井					①⑦						④
	北 川											
	役 田											④
	吉 田				③							④
	柏 原											④
不整脈科	小 谷						③					
	木 村	⑤		⑥	⑥							

①新患専用外来（受付は11時30分まで） ②フットケア外来 ③睡眠時無呼吸外来（13時30分～16時：要予約）
④7週に1回 ⑤ペースメーカー外来（要予約） ⑥不整脈外来（要予約） ⑦TAVI 外来

心臓血管外科	上 山									①		
	坂 倉								②③			

①リンパ浮腫・多汗症 ②ペースメーカー外来（第1・2・4週のみ）※ ③新患静脈瘤外来（要予約）※
※緊急手術で休診の場合もありますので、お問合せください

腎臓内科	浅 香											
放射線科	分 校											
糖尿病内科	※交代制											
呼吸器内科	西 山											第4
消化器内科	稲 垣											
整形外科	出 村											第1
	林（克）											第3
皮膚科	中 村			①								

① 10 時～12 時：要予約

外来診療時間

月～金	9:00～12:00 13:30～16:00
土（第2土曜日休診）	9:00～11:30

休診日： 日曜日、第2土曜日、祝祭日、
年末年始（12月30日～1月3日）、
お盆休み（8月15日、16日）

面会について

新型コロナウイルス感染予防対策として当分の間、入院患者さまへの面会は原則として禁止します。ただし、ご家族等の方に対し、当院が特に認めた場合*を除きます。
* 病状説明、各種手続き、手術前後の場合など

■病院長 新年ご挨拶

■当院の昨年度トピック

はあとふる
vol.57



浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院

www.kanazawa-heart.or.jp

new year 2022

■病院理念■

高度な循環器専門医療から高齢者慢性期医療にいたるまで「患者さま」に寄り添った医療を提供します。

■ビジョン■

循環器診療の総合的地域中核病院になること。
地域・患者ニーズに合わせた病院機能への転換。



医療法人社団浅ノ川

心臓血管センター金沢循環器病院

〒920-0007 石川県金沢市田中町は 16

TEL076-253-8000 FAX076-253-0008

<http://www.kanazawa-heart.or.jp>

info@kanazawa-heart.or.jp

編集 / 広報委員会 はあとふる Vol.57 発行日 2022.1.25

